

2025年度 大学院入学試験問題【I期】

政治経済学研究科 経済学専攻 (博士前期課程)

科目：専門科目

以下の4問から1問を選択し、日本語で解答しなさい。

【解答用紙に問題番号を明記すること。】

1. 離散時間の Solow モデルを考える。各 t 期における生産量、資本ストック、労働投入、投資、貯蓄をそれぞれ Y_t, K_t, L_t, I_t, S_t で表す。マクロ的生産関数は $Y_t = K_t^\alpha L_t^{1-\alpha}$ とする (ただし $\alpha \in (0,1)$ とする)。また、資本減耗率と貯蓄率をそれぞれ $\delta \in (0,1), s \in (0,1)$ とし、労働力は時間を通じて一定とする。このとき、定常状態における一人当たり資本の水準を求めなさい。また、定常状態における一人当たり消費を最大にする黄金律貯蓄率を求めなさい。計算過程も記すこと。
2. ある工場が汚染物質を排出することで、外部不経済を発生させている。経済学の視点から、この外部不経済への対応策について、図を使って説明せよ。
3. アンカバーの金利平価とフィッシャー方程式が成り立っている場合、インフレ期待の上昇は、為替相場の短期均衡レートにどのような経路でどのような影響を与えるか、論じなさい。
4. 後発国の工業化について、ガーシェンクロン (Alexander Gerschenkron) の見解に言及しつつ述べなさい。